

ネパール派遣研修報告②

12/25 (月)

本日は、現地のハチガンダ福祉協会の関係の方々等にシティツアーに連れて行っていただきました。

観光旅行では決して乗ることのない、カトマンズの公共バスに乗車し、地元の人が買い物をする旧市街を歩き、タメル地区で買い物を楽しみ、夕刻、中心から西に2キロに位置するネパール最古の仏教寺院スワヤンブナートまで行きました。寺院見学後は公共バスに乗車し、シバクチまで戻ってきました。

本日も、学生にとって人生で初めての体験を数えきれないくらいし、実り多き一日となりました。

また、連れて行って下さった方々が私たちことを、細やかにケアしてくださいました。



12/26 (火)

午前中は幼稚園から日本の中学2年生にあたる生徒が計500人ほど学んでいる私立学校を訪問しました。幼稚園の子供たちの歓迎を受け、小学校にあたる学年の教室を見学後、ホールにて歓迎会を開催してくださいました。ネパールの子供たちの愛らしい歌やダンス、生徒さんの楽器演奏、民族ダンスを見せていただきました。そのあと、本学こども教育学科の学生が日本の伝統遊びについてのプレゼンテーションを行い、「よっちょれ」を披露し、ネパールと日本の素晴らしい文化交流となりました。

夕刻より、ハチガンダ福祉協会主催のセミフォーマルパーティにご招待いただき、学生もホストファミリーや福祉協会の方々との楽しいひと時を過ごしました。

今回の研修では、どこに行っても温かいおもてなしを受け、これもハチガンダ福祉協会と本学の長年にわたる協力、友好関係によるものであると実感しました。

明日、学生は各ホストファミリーと一日過ごした後、夜のフライトでシンガポールを経由し関西国際空港に向かいます。

